
研究課題名

高齢者気胸に対する外科的治療の有効性と課題の検討

研究責任者：呼吸器外科 徳永義昌

研究分担者：呼吸器外科 徳永義昌 中島成泰

1. 研究の背景

高齢者気胸は COPD や間質性肺炎など慢性呼吸器疾患を背景として発症することが多く、保存的治療が選択されることも少なくない。一方、外科的治療により肺瘻閉鎖や早期離床が期待できるものの、周術期合併症や術後死亡のリスクも高く、手術適応について一定の見解は得られていない。

当院では高齢者に対しても全身状態を十分評価した上で積極的に手術を施行してきた。本研究では当院で経験した症例を後方視的に解析し、高齢者気胸に対する外科的治療の有効性および問題点を明らかにすることを目的とする。

2. 研究目的

70 歳以上の気胸患者に対する外科的治療成績を後方視的に検討し、

患者背景

手術内容

術後経過

合併症

再発

死亡

を解析することで、高齢者気胸に対する手術の有効性と課題を明らかにする。

3. 研究デザイン

単施設・後方視的観察研究

4. 研究対象

2015 年 10 月 1 日から 2025 年 10 月 31 日までに当院で気胸に対する手術を施

行した 70 歳以上の患者

予定症例数：約 26 例

5. 選択基準

手術時年齢 70 歳以上

気胸に対して外科的治療を施行した症例

6. 除外基準

診療録から必要な情報が取得できない症例

7. 研究方法

電子カルテ、手術記録、麻酔記録、画像所見および診療録を用いて以下の情報を収集する。

患者背景

年齢

性別

BMI

Performance Status

mMRC

喫煙指数

気胸発症回数

基礎疾患

呼吸器疾患

周術期因子

術前ドレナージ期間

麻酔方法

術式

開胸・胸腔鏡の別

手術時間

使用した組織補強材

術後経過

術後ドレナージ期間

肺癰停止の有無

術後合併症

術後再発

再治療

術後 30 日以内の死亡（院内・院外を問わない）および死亡原因

8. 主要評価項目

術後肺癰停止率

術後 30 日死亡率

9. 副次評価項目

術後合併症発生率

術後再発率

術後ドレナージ期間

再治療率

10. 統計解析

連続変数は平均値±標準偏差または中央値（範囲）で示す。

カテゴリカルデータは件数および割合で示す。

本研究は症例集積を目的とした記述的解析とする。

11. 研究期間

倫理審査委員会承認日から学会発表終了日（2026年10月22日）まで

12. 研究に伴う侵襲・介入

本研究は既存の診療情報のみを用いる後方視的観察研究であり、新たな侵襲・介入は行わない。

13. 試料・情報

利用する情報

電子カルテ

手術記録

麻酔記録

検査データ

画像所見

新たな試料採取は行わない。

14. 個人情報保護

収集したデータは研究用 ID を付与し匿名化する。

対応表は研究責任者が施錠可能な場所またはパスワード管理された媒体で保管

し、研究終了後は施設の規程に従い適切に廃棄する。

学会・論文発表では個人が特定される情報は一切公表しない。

15. 利益相反

本研究に関連して開示すべき利益相反はない。

16. 研究資金

本研究は通常診療で得られた情報を用いて実施し、特別な研究費は使用しない。

17. 研究結果の公表

本研究成果は学術集会および学術雑誌において公表する予定である。

18. 倫理的配慮

本研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守して

実施する。

既存診療情報のみを用いる後方視的観察研究であり、対象者への新たな侵襲・介入は行わない。

対象者が研究への利用を拒否できるよう、施設ホームページ等で研究情報を公開し、オプトアウトを実施する。
